【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【公開番号】特開2007-175447(P2007-175447A)
【公開日】平成19年7月12日(2007.7.12)
【年通号数】公開・登録公報2007-026
【出願番号】特願2005-380453(P2005-380453)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　1/00　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　5/07　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　1/00　３２０Ｂ
Ａ６１Ｂ　5/07

【手続補正書】
【提出日】平成20年10月15日(2008.10.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被検体の所望の臓器内に導入される第１の液体と、
前記第１の液体よりも比重が軽くて該第１の液体と混じりあわず、前記臓器内に導入される第２の液体と、
前記第１の液体と前記第２の液体との中間の比重を有して前記臓器内に導入されて該臓器内における前記第１の液体と前記第２の液体との境界面に浮揚し、被検体内情報を取得して該被検体内情報を被検体外に無線出力するカプセル型医療装置と、
前記被検体外に配置され、前記被検体内の前記カプセル型医療装置から無線送信される前記被検体内情報を受信する受信装置と、
前記カプセル型医療装置の前記境界面における浮揚位置および／または浮揚姿勢を変化させるカプセル変位駆動手段と、
を備えることを特徴とする被検体内観察システム。
【請求項２】
前記カプセル型医療装置は、永久磁石を内蔵し、
前記カプセル変位駆動手段は、前記カプセル型医療装置に内蔵された前記永久磁石に対して前記被検体外から外部磁界を印加して該カプセル型医療装置の浮揚位置および／または浮揚姿勢を駆動変化させる磁界付与手段であることを特徴とする請求項１に記載の被検体内観察システム。
【請求項３】
前記カプセル変位駆動手段は、前記カプセル型医療装置に付加されて揺動駆動により該カプセル型医療装置の浮揚位置および／または浮揚姿勢を変化させる自己揺動機構であることを特徴とする請求項１に記載の被検体内観察システム。
【請求項４】
前記カプセル変位駆動手段は、前記カプセル型医療装置に付加されて推進駆動により該カプセル型医療装置の浮揚位置および／または浮揚姿勢を変化させる自己推進機構であることを特徴とする請求項１に記載の被検体内観察システム。
【請求項５】

前記第１の液体および／または前記第２の液体は、臓器内導入量が可変的であることを特徴とする請求項１～４のいずれか一つに記載の被検体内観察システム。

【請求項６】

前記第１の液体、前記第２の液体および前記カプセル型医療装置が前記所望の臓器内に導入された前記被検体の体位を変化させる体位変換装置をさらに備えることを特徴とする請求項１～５のいずれか一つに記載の被検体内観察システム。